

留 学 報 告 書

記入日：2014年4月24日

留学先国	タイ	
留学先大学・学部 (和文及び英語)	(和) シーナカリンウィロート大学人文学部 (英) Faculty of Humanities, Srinakharinwirot University	
留学期間	2013年6月～2014年3月	
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)	
留学先での学年	4年生(留学先大学で在籍した学年)	
帰国年月日	2014年3月12日	
明治大学卒業予定年月	2015年3月	

留学費用項目	現地通貨(バーツ)	円	備考
授業料	12,000 バーツ	38,040 円	当初通った語学学校の授業料
宿舍費	113,000 バーツ	358,210 円	
食費	4,5000 バーツ	円	
図書費		円	
学用品費	4,315 バーツ	13,678 円	
教養娯楽費		円	
被服費	1,000 バーツ	3,170 円	
医療費	2,000 バーツ	6,340 円	
保険費	53,750 バーツ	170,390 円	
渡航旅費	114,521 バーツ	363,100 円	
雑費		円	
その他(交通費)	1,0000 バーツ	3,1700 円	
その他()		円	
その他()		円	
合計	306,031 バーツ	971,528 円	

渡航関連	
渡航経路	羽田→バンコク スワンナブーム空港
渡航費用	チケットの種類 エコノミー 往路 復路 合計 363100 円
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
サポーターの先生による留学生全員一括の予約。 『รู้จักไทย เข้าใจญี่ปุ่น ไทย クロスカルチャー タイ』という本が日本人とタイ人の様々な価値観の違いに詳しい。	
滞在形態関連	
種類（留学中の滞在先）例：アパート，大学の宿舎など	
コンドミニアム(タイにおけるマンション)	
部屋の形態	<input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋（同居人数：2人）
住居を探した方法	
現地に到着後、留学先大学で私のアドバイザーとなってくださる先生にタイ人とルームシェアがしたいと相談し、留学先大学の卒業生のタイ人を紹介して頂いた。	
感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）	
ももとは結構な値段のする物件でしたが、2人で分けることによりかなりお得になった。それ以上に現地人と一緒に住むことで得られる語学力はかなり大きく、タイ人の習慣・文化なども知ることができるので是非検討してみしてほしい	
現地情報	
現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？	
<input type="checkbox"/> 利用する機会がなかった <input checked="" type="checkbox"/> 利用した；現地の小さい病院、外国人向けの高級病院 大学の診療所は利用しませんでした。	
学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口がありましたか。	
明治大学からの留学生にそれぞれアドバイザーがついてくださったのでその先生に相談した。日本語を話せる方もいらしゃったので最悪外国語を何もしゃべれなくても相談することは可能。また、シーナカリンウィロート大学内には明治大学アセアンセンターが開設されたのでそちらの方にもよく相談した。	
現地の危機地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？	
外務省の海外安全ホームページ 盗難などの犯罪に巻き込まれることは全くなかった。 現地の人の様子を見て、なるべくそれに近いような服装にしてなるべく現地に溶け込むようにしていた。 あからさまに外国人と分かるような服装、荷物は狙われやすく危険。 例えば、タイの暑さの中スーツの上着を着ていたり、ビジネスバッグなどは日本人以外にいないのですぐに日本人とばれる 貴重品は常に身につけ、盗まれた際にすぐ分かるようにしていた。	
パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？ 例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは、WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。	

<p>現地で SIM カードを購入し、常に iPhone で 3G に接続できるようにしていた。</p> <p>留学先大学構内にアセアンセンターがあったのでインターネットに困ることは全くなく、自宅の WIFI も問題なかった。</p>
<p>現地で資金調達はどのように行いましたか？</p> <p>例：現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録しないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。</p>
<p>現地のバンコク銀行に口座を開けし、日本から送金してもらった。</p>
<p>現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。</p> <p>タイには日本のものが溢れているので全く困らなかった。ただ日本食は日本と同じくらいもしくはそれ以上の値段がするので日本食は食べたいが節約したい人はインスタント食品などを持っていってもよいかもしれない。</p>
<p>進路について</p>
<p>進路</p>
<p><input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> その他：</p>
<p>進路決定の際に参考にした資料、図書、期間など</p>
<p>就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。 (内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)</p>
<p>就職活動中・終了時に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書きください。 例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。</p> <p>私は外務省専門職試験の受験を選択したので留学中の就職活動については何もいえませんが、とにかく留学中はせっかく日本企業の海外法人の現場を見ることができるのですから、明治 OB など使えるつては全て使って色々なところに足を運び、見聞を広めてください。その中で新たに見えてくる道もあると思います。</p> <p>留学している間は説明会など就職活動の現場には行けない分、留学先では留学先でしかできない経験をたくさんつんでください。実際に海外で今まさに働いている人に直接お話を聞けるといのも留学していなければできないことです。</p>
<p>進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。</p>
<p>進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）がありましたらお書きください。</p>
<p>その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書きください。</p> <p>タイに留学をするというのはある意味では賭けであると思います。タイ語が話せることで就職が特別有利になるようなこともありませんし、タイに留学しても英語はそれほどうまくなりません。私自身タイではタイ語しか使わなかったためタイ語は話せるようになりましたが、英語は日本にいた時と変わりません。タイへの留学を希望している方は英語圏でなく、なぜタイに留学するのかということを再考してみてください。自分の将来を考えた時、そのやりたいことの中にタイはあるのか、本当にタイでなければいけないのかをよく考えた上でタイ留学という経験をしてこなければただ海外に留学したという経験自体は評価の対象ではありません。タイ語を第 2 外国語でやっている方はいいですが、タイ語を留学でゼロからやる方は英語もタイ語も中途半端なまま帰ってきてしまうような結果になることもありえます。そうしたリスクも考えた上でも他の国ではなくタイへ留学したい、という方は日本にいるうちにタイへの留学に向けた準備をしっかりとし、留学生在活がよりよい経験となるように頑張ってください。</p>

学習についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数） ※該当項目にチェックのうえ、記入してください。
6 単位（2科目）	<input type="checkbox"/> 単位（ 科目） <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません（理由： ）
以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスを含めてお書きください。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）	วัฒนธรรมไทย
履修した授業科目名（日本語）	タイの文化
科目設置学部	人文学部
履修期間	前期
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式 グループワークなど様々
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	ボンラット ティラナン先生
授業内容	タイの文化全般
試験・課題など	タイと日本の違いやタイで生活していて感じた疑問、違和感などを毎回書いて先生に提出 先生も毎回一人ずつに対してコメントを記入して返却してくれた。 試験は授業で扱ったタイの文化に関わる内容で先生が一人ずつ面接のような形で試験を行った。
感想を自由記入	タイ語専攻所属の先生が外国人留学生向けに教えてくれる授業だったので普通のタイ人が話すときよりタイ語の声調をととてもはっきり発音してくれたため非常に聞き取りやすかった。実際のタイの文化を映像や実践を交えて教えてくれたり授業に有名なタイのお菓子を持ってきてくれてみなで食べるなどとても楽しみながらタイの文化を学べる非常に有用な授業であった。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	การอ่าน และ เขียนภาษาไทยเพื่อการสื่อสาร
履修した授業科目名（日本語）	タイ語読み書き
科目設置学部	人文学部
履修期間	前期
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	チンタナー 先生

授業内容	タイ語の詩歌などの読解を通してタイ語の表現を学ぶ
試験・課題など	タイ語の表現やつづりなど文法的な側面全般から出題されるペーパーテスト
感想を自由記入	タイ語の詩歌の表現などはとても目新しいものではあったが、1年間の留学生活くらいでそのようなタイ語に触れることは少ないためあまり実用的ではないかもしれない。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	การฟัง และ พูดภาษาไทยเพื่อการสื่อสาร
履修した授業科目名（日本語）	タイ語リスニング スピーキング
科目設置学部	人文学部
履修期間	前期
単位数	聴講
本学での単位認定状況	単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義 学生の発表など
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	ルンルディー 先生
授業内容	タイのCMなどの動画を通してタイ語での表現などを学び、学生にテーマを与えてそれに関するスピーチを自分で考え発表する
試験・課題など	スピーチの原稿を提出し、添削してもらう 定期試験はないが、毎回のスピーチや授業中の発言などが採点対象
感想を自由記入	他の学生の前で一人で立って話す機会が多くあり、一人で長く話す練習になった。原稿も細かい言い回しから基本的な文法や綴りまで様々な間違いを指摘してくれるのでとても役に立った。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	ภาษาไทยเพื่อการท่องเที่ยว
履修した授業科目名（日本語）	観光のタイ語
科目設置学部	人文学部
履修期間	前期
単位数	聴講
本学での単位認定状況	単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義 発表形式
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	プラパーボン先生
授業内容	タイの地理的なことから観光地の紹介など 実際に観光地に行く回もあり
試験・課題など	実際に観光地に行き観光案内をしたり、授業内でそれぞれが割り当てられた担当の観光地の紹介などから採点される
感想を自由記入	この授業もみなの前で話す機会が多く、実際に観光地に行き案内する回ではその場で質問されることにも答えていかなければならないのでそういった対応能力も養うことができた。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	การแปลภาษาญี่ปุ่นเบื้องต้น
履修した授業科目名（日本語）	日タイ翻訳入門
科目設置学部	人文学部
履修期間	後期
単位数	聴講
本学での単位認定状況	単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	アティナン先生
授業内容	日本語 タイ語間の翻訳のために必要な両言語の文法的違い、場合別の翻訳方法など
試験・課題など	授業で扱った文法事項の確認や和文タイ語訳 タイ語和訳の試験
感想を自由記入	在タイ日系企業などにおいてタイ語を使用する業務の大半はタイ語の能力だけではなく、それを日本語にうまく訳す能力が要求される。将来のそういった業務を想定しての良い練習機会となった。

留学に関するタイムチャート

<p>2013年 1月～3月</p>	<p>タイ語の練習のため、タイ料理屋のアルバイトを2012年12月から留学直前までの契約で始める。 タイ語の勉強に専念するため以前から続けてきたアルバイトを辞職し、タイ料理屋のみに。 日本に留学しているタイ人留学生との交流でタイ語の能力を向上させる。</p>
<p>4月～7月</p>	<p>4月から情コミで始まったタイ語の授業を聴講させてもらう。しかし、これまで独学ですべてやっていたのでこの時点の私には簡単すぎた。タイ人の先生にタイ語会話の練習などしてもらう。 6月から留学先の授業が開始した。全てタイ語だったので、留学先で出会った東京外国語大学のタイ語専攻の学生、中国、韓国人留学生に助けてもらいながらなんとか授業をこなす。 タイ人の恋人ができ、7月からは留学先大学の卒業生のタイ人とルームシェアをはじめめる。</p>
<p>8月～9月</p>	<p>授業の進行に十分ついていけるようになる。 ただ語彙がまだ足りないので質問をしなければ完全には理解できない状態。</p>
<p>10月～12月</p>	<p>10月はタイの学期で約1ヶ月休みなので当初10月に出家をする予定でしたが、10月は一般の出家者が他におらず仏教に関する授業もないため11月に出家することに。 11月 タイ人100人とともに1ヶ月間タイのお寺で出家 1ヶ月間全く日本語を話せなかったため特にスピーキングが大きく向上。</p>
<p>2014年 1月～3月</p>	<p>授業に関しては問題なし。ただ今期は休講が多くあまり授業がなかった。 3月12日 帰国</p>
<p>4月～7月</p>	<p>外務省専門職の勉強をはじめめる</p>
<p>8月～9月</p>	
<p>10月～12月</p>	

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由</p>	<p>2011年のタイでの洪水がはるか遠く離れた日本にも影響があることを目の当たりにしたのがタイに興味を持った最初です。その後タイでの情報コミュニケーション学部の短期プログラムに参加してシーナカリンウィロート大学で現地学生と交流しました。日本とタイの様々な違いを認識するとともにさらにタイへの興味が増し、タイのことをさらに追求するため1年間の長期留学を決めました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>タイ語の能力、特に長い文章の読み書き能力を留学前にできるだけ向上させておくべきです。会話能力というのは1年間も留学していればある程度慣れで誰でもこなせるようになりますが、読み書きというのは元からある程度土台ができていていなければあちらに行って会話で精一杯の状態でも読み書きまで手が回らずほとんどできるようになりません。日本にいるうちからタイ語の文章に見慣れておくことが大切です。</p>
<p>この留学先を選んだ理由</p>	<p>情報コミュニケーション学部の短期プログラムを通して一度この大学に短期留学をして大学の雰囲気や生活をすでに知っていたことが大きいです。バンコク市内にあるほかの大学に比べ、バンコクの中でも観光客が多い繁華街のすぐ近くにあるためアクセスもとても便利です。また明治大学アセアンセンターもこの大学構内のビルに入っていますのでサポート体制も万全です。</p>
<p>大学・学生の雰囲気</p>	<p>大学は日本の東京にある大学生からすると広すぎるくらいに広々としていて、グラウンドなどもあり、大都会の中にキャンパスがあることを感じさせません。学生も外国人留学生に対して親切に話しかけてくれる方が多いですが、男子学生はそういう人は少なめだと思います。</p>
<p>寮の雰囲気</p>	<p>タイではコンドミニウムと呼ばれるマンションにタイ人のルームメイトと共に住んでいましたが、2人で割らなければ結構な値段のする物件だったのでプールやフィットネスもあり部屋もかなり広くて困ることは何もありませんでした。もともと外国人が多く入居していますが、タイ人も何人かでひとつの部屋をシェアしている方は多くいます。</p>
<p>交友関係</p>	<p>留学の早い段階でタイ人の恋人ができたこともあり、その恋人が自分の友達のところによく連れて行ってくれたので大学外でも交友関係がとても広がりました。語学的な意味でもその国の文化を理解するという意味でも恋人、もしくはそれに準ずる仲の良い友人がいるとその国に対する理解もさらに深まり、よりよい経験ができるのではないかと思います。</p>
<p>学習内容・勉強について</p>	<p>タイの仏教や習俗、習慣など文化全般について幅広く勉強していました。授業は先生が一方向的に講義をする形式の会もありましたが、学生それぞれにテーマを振り分けてスピーチをさせたり、学生同士のグループを作って発表したりしていました。私は唯一タイ語専攻ではなかったので当初かなり足を引っ張っていましたが、他の学生に負けたくないという思いから最後のほうにはタイ語専攻の学生よりうまくなるほどにまで成長しました。</p>

<p>課題・試験について</p>	<p>最初はやっとなにか話することができはじめたレベルのタイ語でレポートまで書かなければいけなかったのでなかなか大変でした。また、読まなければならない資料も全てタイ語なのでタイ留学前にちょっとタイ語をかじった程度の私では資料を読むだけで一苦労でした。</p> <p>タイへの留学を考えている方は会話能力はもちろんのこと、読み書き能力もタイ語で書かれた本を読めるレベルまであげてから来ることをおすすめします。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>タイの文化を知るためタイのお寺にて1ヶ月間出家をしたことです。100名ほどのタイの方と一緒に出家をしたので多くの社会人の方と交流を持つことができました。タイの文化を理解する上で非常に有意義な活動となったと思います。</p>
<p>ある平日のスケジュール</p>	<p>7時：起床 8時半～12時：授業 12時～13時：昼食 14時～18時：自由時間 19時～20時：夕食 21時～0時：課題</p>
<p>ある休日のスケジュール</p>	<p>9時：起床 10時～12時：自宅のフィットネスやプールで運動 13時：昼食 14時：タイ人とともにお寺へ 16時～18時：ショッピング 19時：夕食 22時：帰宅</p>
<p>留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと</p>	<p>ただ外国にいる というだけでは不便だけで何も得られるものではありません。自分の知らない世界に飛び込んで行こうという姿勢が大事だと思います。極論言葉だけなら留学しなくても学ぶことはできます。せっかく実際に留学しに来ているのですから、その国の文化を体で体験できるような経験ができると良いと思います。あなたは外国人なんですから最初は何もできなくて当然です。恥を捨て、全力で新しいものにチャレンジしていきましょう。</p>

托鉢（本人は左から3番目）



中韓からの留学生と



タイ人の友人と

以上